（表紙）

都市防災事業計画（第6回変更）

岡山県倉敷市（おかやまけんくらしきし）

平成31年1月11日（当初）
令和元年7月25日（第1回変更）
令和元年12月24日（第2回変更）
令和3年1月27日（第3回変更）
令和4年1月20日（第4回変更）
令和5年1月13日（第5回変更）
令和5年12月15日（第6回変更）

（様式1）整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

都市防災事業計画（第6回変更）

本市は中国地方、岡山県の南部に位置しており、白壁の町並みが残る倉敷美観地区や本州と四国を結ぶ瀬戸大橋などで知られる。中国地方で三番目の人口を擁し、中核市に指定されている。面積355.63km2で、平成30年11月末現在、人口482,503人（世帯数210,216世帯）が生活している。

本市は，南海トラフ地震津波対策推進地域に指定され，大規模地震による建物被害等とともに沿岸部では津波発生も想定され，災害発生リスクが高まっている。

また，平成30年7月豪雨において、倉敷市真備地区では、約1，200haが3日間にわたり浸水し、死者は51人、5，700棟超の住宅が全壊・大規模半壊・半壊した。

［課題］

平成30年7月豪雨災害を受けた真備地区において、地震や洪水に対して安全・安心に暮せるよう災害に強いまちとなるため、復興まちづくり計画を策定し、円滑な避難活動を実施するための避難路を整備するなど、早急に都市の防災対策を推進する必要がある。

【整備方針】

本市では、平成30年7月豪雨により、約1，200haの浸水被害があり、地区の防災性向上を図るため，避難路等の整備が急務となっている。

あわせて，復旧・復興に対する方針について住民と合意形成を図り、効率的・効果的な復興事業の推進、かつ、住民の災害に対する意識・知識が向上することを目的に復興まちづくり計画を策定する。

（様式2）計画事業一覧

計画事業一覧

都市防災事業計画（第6回変更）	岡山県		市町村名	倉敷市	計画期間	平成30 年度　～　令和6年度	
担当部局名	倉敷市建設局　部（局） 災害復興推進室　課 係		担当者	（正）城後　哲也 （副）濱田　臣 （副）	連絡先	TEL FAX e-mail	086-426-3460 086-421-1600 lg-reprm@city.kurashiki.lg.jp

【都市防災総合推進事業】

事業区分		事業主体	事業地区名	地区面積（ha）	都市防災総合推進事業における事業期間		国費率	交付対象事業費（予定）額	
					開始年度	終了年度		（参考）事業費	（参考）国費
地区公共施設等整備	地区公共施設（避難路整備、防災公園整備、避難地整備）	倉敷市	真備地区	3.5	H31	R5	1／2 用地1／3	1570.4 1499.6 （1/2:1,274.2,1/3:225.4）	747.6 712.2 （1/2:637.1,1/3:75.1）
	地区公共施設（避難路整備）	岡山県	真備地区	0.05	R4	R4	1／2	20 17	10 8.5
	地区緊急避難施設（直接）	倉敷市	真備地区	0.04	R3	R6	1／2	327.0 433.8	163.5 216.9
効果促進事業	復興まちづくり計画策定	倉敷市	真備地区	4,419	H30	H30	1／2	9.3 9.3	4.7 4.7
復興まちづくり総合支援事業	復興まちづくり計画策定支援	倉敷市	真備地区	4,419	H30	H31	1／2	0 0	0 0
	復興に向けた公共施設等整備（避難路整備）	倉敷市	真備地区	0.2	H31	R2	1／2	0 0	0 0
合計								1926.7 1959.7	925.8 942.3

注）補助事業費について百万円単位。

注）該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注）複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。

（様式3）関連事業［都市防災上の課題解決に関連する事業］

都市防災事業計画（第6回変更）	事業主体	事業地区名	事業規模（面積、延長、幅員等）	総事業費（国費ベース）	事業期間		事業実施状況	重点密集市街地の有無
					開始年度	終了年度		

注） 総事業費について百万円単位。

注） 地域防災計画、地震対策緊急事業五箇年計画等を参照し、関連部局と調整の上作成。

（様式4）年度別事業計画1【参考】

［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【百万円単位】

事業区分		事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	国費率	交付対象事業費（予定）額 ［国費ベース］							
							令和元年度以前	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降	計
地区公共施設等整備	地区公共施設	倉敷市	真備地区	避難路整備 (L=760m　W=6～7m) 防災公園整備(A=1.6ha) 避難地整備(A=0.2ha)	無	1/2 用地1/3	67.8 67.8	161.9 161.9	347.9 349.5	90.0 90.0	80.0 43.0			747.6 712.2
		岡山県	真備地区	避難路整備 (L=100m　W=5m)	無	1/2				10.0 8.5	0.0 0.0			10.0 8.5
	地区緊急避難施設（直接）	倉敷市	真備地区	地区緊急避難施設 （A=480㎡）	無	1/2			13.5 11.9	0.0 0.0	60.0 90.0	90.0 115.0		163.5 216.9
効果促進事業	復興まちづくり計画策定	倉敷市	真備地区	復興まちづくり計画策定及び調査	無	1/2	4.7 4.7							4.7 4.7
被災地における復興まちづくり総合支援事業	復興まちづくり計画策定支援	倉敷市	真備地区	計画策定及び調査	無	1/2	0.0 0.0							0.0 0.0
	復興に向けた公共施設等整備(防災)	倉敷市	真備地区	避難路整備	無	1/2	0.0 0.0	0.0 0.0						0.0 0.0
	復興に向けた公共施設等整備(活力)					1/3								
						1/2 (景観法)								
	復興まちづくり施設整備助成					1/3								
合計							72.5 72.5	161.9 161.9	361.4 361.4	100.0 98.5	140.0 133.0	90.0 115.0		925.8 942.3

（様式5）年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【百万円単位】

都市防災事業計画（第6回変	整備内容	整備の内訳	国費率	令和元年度以前	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降	計
真備地区	地区公共施設	避難路整備（用地費以外） L=390m　W=6m	1/2	52.7 52.7	99.0 99.0	151.6 151.6					303.3 303.3
真備地区	地区公共施設	避難路整備（用地費） L=390m　W=6m	1/3	5.1 5.1	6.2 6.2	0.1 0.1					11.4 11.4
真備地区	地区公共施設	避難路整備（用地費以外） L=300m　W=6m	1/2			5.8 5.8	25.0 22.6				30.8 28.4
真備地区	地区公共施設	避難路整備（用地費） L=300m　W=6m	1/3			1.3 1.3					1.3 1.3
真備地区	地区公共施設	防災公園整備（用地費以外） A=1.6ha	1/2		24.1 24.1	128.9 130.2	65.0 67.4	80.0 43.0			298.0 264.7
真備地区	地区公共施設	防災公園整備（用地費） A=1.6ha	1/3	5.6 5.6	32.6 32.6	16.7 16.7					54.9 54.9
真備地区	地区公共施設	地区緊急避難施設 （用地費以外） A=480㎡	1/2			13.5 11.9	0.0 0.0	60.0 90.0	90.0 115.0		163.5 216.9
真備地区	地区公共施設	避難路整備（用地費以外） L=70m　W=7m	1/2	0.7 0.7		6.9 7.3					7.6 8.0
真備地区	地区公共施設	避難路整備（用地費） L=70m　W=7m	1/3			1.0 1.0					1.0 1.0
真備地区	地区公共施設	避難地整備（用地費以外） A=0.2ha	1/2	3.7 3.7		29.1 29.0					32.8 32.7
真備地区	地区公共施設	避難地整備（用地費） A=0.2ha	1/3			6.5 6.5					6.5 6.5

○補助額の内訳

［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【百万円単位】

都市防災事業計画（第6回変	整備内容	整備の内訳	国費率	令和元年度以前	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降	計
真備地区	地区公共施設	避難路整備（用地費以外） L=100m　W=5m	1/2				10.0 8.5	0.0 0.0			10.0 8.5
真備地区	効果促進事業	復興まちづくり計画策定及び調査	1/2	4.7 4.7							4.7 4.7
			合計	72.5 72.5	161.9 161.9	361.4 361.4	100.0 98.5	140.0 133.0	90.0 115.0	0.0 0.0	925.8 942.3

○用地取得面積

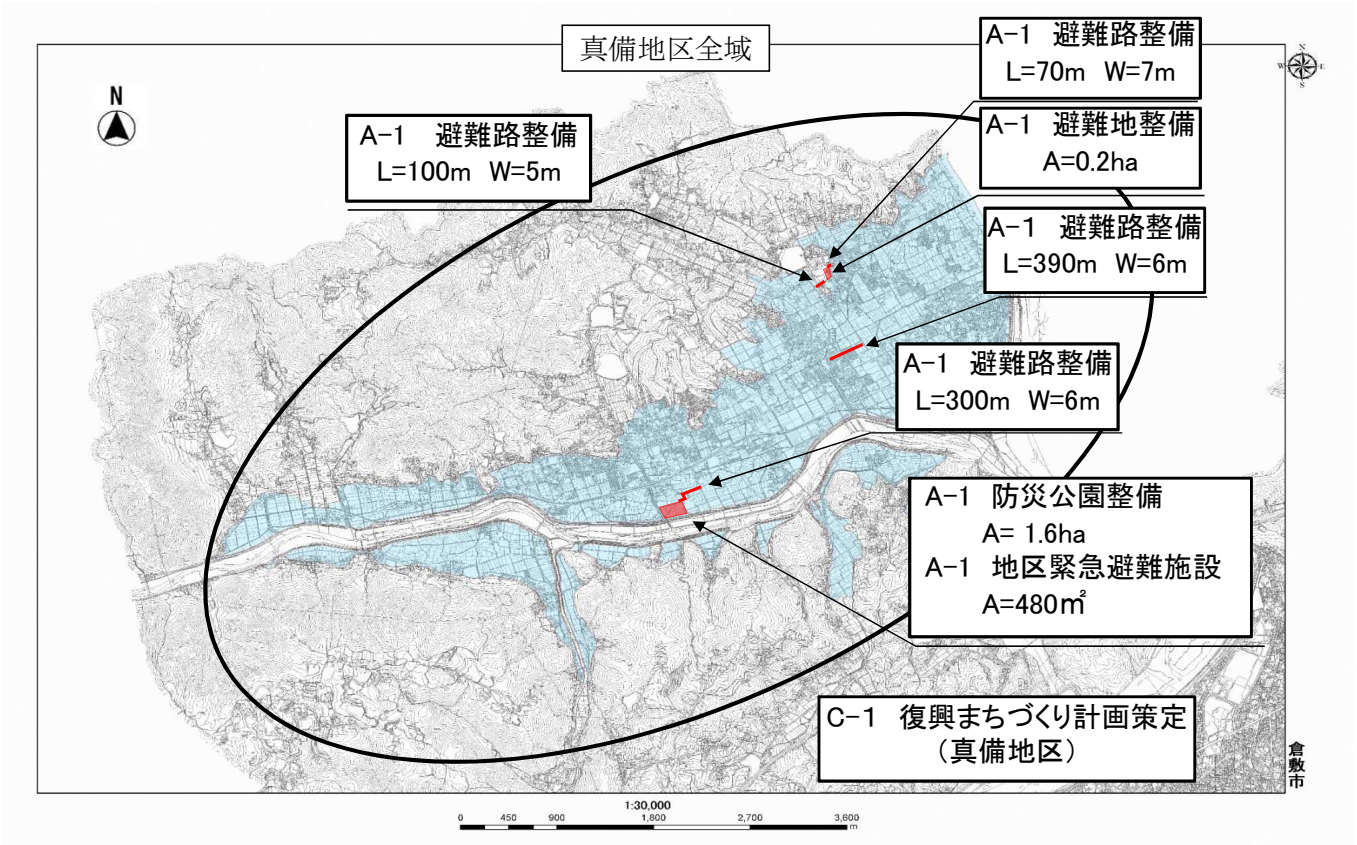
［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【m2単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	国費率	令和元年度以前	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降	計
真備地区	地区公共施設	避難路整備（用地費） L=390m　W=6m	1/3	571	1,788						2,359
真備地区	地区公共施設	避難路整備（用地費） L=300m　W=6m	1/3			453					453
真備地区	地区公共施設	防災公園整備（用地費） A=1.6ha	1/3		14,833	4,508					19,341
真備地区	地区公共施設	避難路整備（用地費） L=70m　W=7m	1/3			191					191
真備地区	地区公共施設	避難地整備（用地費） A=0.2ha	1/3			1,260					1,260

（様式6） 現況図 等

地区名	岡山県倉敷市	面積	4,419ha	区域	真備地区	

位置図



H３０年７月豪雨
浸水推定区域

（様式6） 現況図 等 【倉敷市真備地区 避難困難者ゼロプログラム】

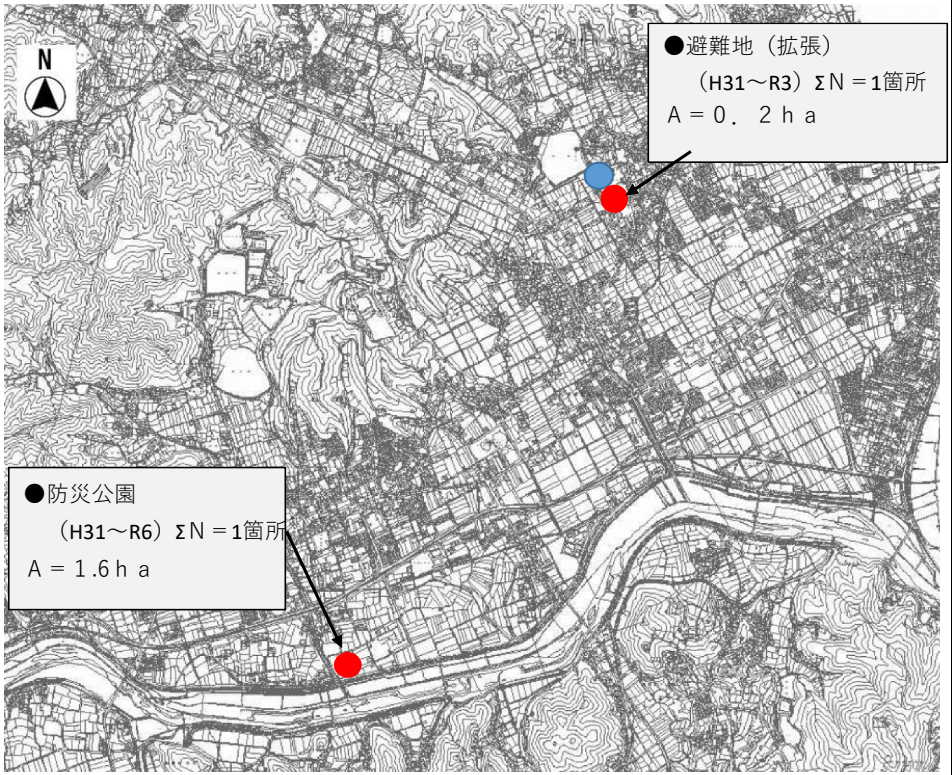
地区名	真備地区	面積	4,419ha	避難困難者数	1,137人	区域	岡山県倉敷市真備地区

1. 避難困難者の解消計画

地区面積（ha）	避難困難者数（人）	避難困難者解消 目標年度						
		H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
4,419	1,137	1,137	1,137	1,137	839	839	839	0
4,419	1,137	1,137	1,137	1137	839	839	839	0

2. 避難施設の整備計画

	地区名等	整備内容	整備 目標年度							事業費	国費
			H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	（百万円）	（百万円）
1	真備地区	防災公園			設計 用地取得	設計 用地取得 工事	設計 工事	工事	工事	1087.7 1127.9	516.4 536.5
		避難地		設計		用地取得 工事				85.1 84.9	39.3 39.2
計										1172.8 1212.8	555.7 575.7



真備地区
避難地 N＝1箇所
防災公園 N＝1箇所

:避難場所（既存）

:避難地（今回整備）

（様式6） 現況図 等

地区名	岡山県倉敷市	面積	4,419ha	区域	真備地区	

【地区緊急避難施設】

施設の規模及び収容人数の妥当性等

【目的】
真備地区では，平成３０年７月豪雨により，地区の約３割となる１，２００haが３日間にわたり浸水する等，甚大な浸水被害が発生した。
地区の中心部には，洪水に対応した指定緊急避難場所がなく，平成３０年７月豪雨の際も，遠方への避難が困難な住民は自宅避難を余儀なくされ，車で避難した住民は，中心部から約４ｋｍ離れた広域避難場所等に避難し，深刻な交通渋滞が発生したため，災害時の救援活動等に支障が生じた。
そのため，地区の中心部において，地区緊急避難施設を整備し，周辺住民や遠方への避難が困難な避難行動要支援者等の安全な避難場所を確保し，災害に強いまちづくりを推進するものである。

・屋内避難対象者：想定される避難者数の内，避難行動要支援者率から算出する。
想定される避難者数（332世帯） 約840人
地区の避難行動要支援者率 約10%
屋内避難者数 840×10%=約80人

・施設面積
一時避難場所 80人×2m2/人=160m2,備品収納等含めて約190m2
屋内的用途に供する箇所（炊き出しエリア等） 約75m2
便所 約40m2
防災倉庫 約80m2
その他（感染症対策等の待機室） 約15m2
合計 約400m2（延床面積 A=480m2）

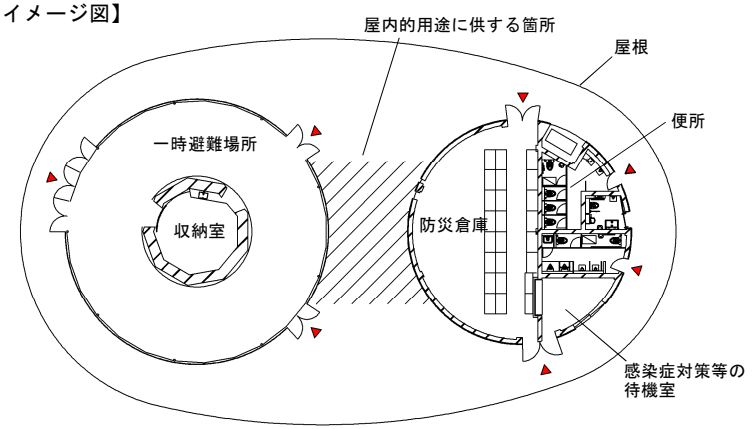
※避難所における必要最低面積 2m2/人（倉敷市避難所運営マニュアルによる）
※施設面積は類似施設から想定した面積であり，今後の詳細設計により変更になる可能性がある

平常時及び災害時における地区の防災性向上のための活用方

【施設概要】
・災害時には，地区住民の一時避難場所や応急活動の拠点として活用する。
・平常時には，主に防災に関する啓発活動の場（防災訓練・防災研修等）として活用する。
また，日頃から地域交流の拠点としても活用することで，災害時にも円滑に利用可能とする。
・併設する備蓄倉庫には，災害時に必要となる資機材や物品等を保管する。

地区緊急避難施設の整備内容（施設の概要が分かる配置図，平面図等）

【施設のイメージ図】



■地区緊急避難施設 A=480m2